



e-La Voz

「エー・ラ・ボス」と読みます

HCJB『アンデスの声』
日本語放送
メールマガジン
(第9号)

2003年7月17日発行

シカゴ新オフィスからのご挨拶

在留邦人家族の方たちに見送られてキト空港を真夜中に飛び立った私たちは、翌日昼前にはシカゴ空港に降り立ち、出迎えの車で無事娘家族の家におちつきました。引越は予想以上に大変でした。なんとといっても40年近くの「暮らしと仕事」を整理、仕分け、梱包するわけですから、さまざまな思いが交錯して時間ばかりすぎていき、最後は見切り発車。なんとか茶箱10箱とダンボール28箱にすべてをつめこんで、それを特別に用意した70x90x150cmの本箱につみあげ、スチールベルトで締めて航空貨物で出しました。なんとといっても住みなれた場所をはなれるのは複雑な気持ちで、とくに愛用した家具や、机、いすなどが姿を消したうつろな部屋をみるのはつらいものです。やはり「うしろ髪をひかれる」おもいでした。



1週間後には、航空貨物会社から着荷の連絡がはいったので、すぐに手続きのためシカゴ空港税関に出頭しました。税関吏は書類をみて、荷物が大きく重いので立ち入り検査をすとはじめは言っていました。長年働いてきた宣教師が家をたたんできたことがわかったと、笑顔でスタンプをポンと押してくれました。木箱は一部こわれたところもありましたが、なかの荷物はすべて無傷でした。これまでに日本とエクアドルを結ぶ太平洋上をなんども往復した茶箱は、いままりっぱに現役で活躍してくれています。日本から時をあわせて休暇をとってきてくれた次男夫婦が重い荷物をえっさえっさと家の地下室に運んでくれました。ぼちぼち荷を解きはじめてところです。いまは夏のさなか。日中は30度近くになります。朝晩は20度以下にさがるのでしのぎやすく北海道の気候に似ています。日中の強い日差しをさけるために街路樹の樹陰がくつろぎの場となっています。二階の窓につり下げた風鈴から涼しげな音がきこえます。息子夫婦が日本からもってきてくれました。



7月4日はアメリカ合衆国独立記念日でした。1776年フィラデルフィアでトマス・ジェファソンが起草した独立宣言が採択され公布された日、アメリカすべての州でその誕生を祝います。今年で227歳を迎えました。この日が近づくと庭先には旗が飾られ、ショップでも星条旗の皿、タオル、小物入れ、文房具、Tシャツなどが並んで祭り気分を盛りたてます。当日はハリウッドボウルやカレッジ・フットボールの王座決定戦を行うローズボール、記念パレードや花火大会が催されます。恒例のニューヨークでのホットドッグの早食い競争には日本のチャンピオンも出場しましたが優勝はなりませんでした。

シカゴでも市内各所でイベントが開催され、絵画やクラフト、スナック、ファストフードの店が街頭にならび、各種ゲームコーナー、カントリー&ウエスタンのライブステージ、ストリートパフォーマンスの登場など盛りだくさんの内容で、子供連れの家族を中心に街中多くの人出でにぎわっていました。前夜祭では、夕暮れの訪れとともにミシガン湖畔のグラントパークでチャイコフスキーの大序曲(1812年)コンサートが始まり、曲中の大砲の音にあわせて花火が打ち上げられました。空と湖面いっぱいには繰り広げられる多彩な色と音のシンフォニーは圧巻です。



この地上に「生」をうけていることを喜び祝うのは、国も個人も同じです。グローバル時代には、人々はそれぞれの国の良いところに気づき、第三者の目で国々を見ることができるようにならなければと常々考えてきました。この国に移り住んでも、異文化のなかに共通のものを見出すとともに自分の国と比較しながら学ぶ態度をもちたいと願っています。折々またレポートします。

夜8時半、やっと戸外は薄暗くなりました。前庭でホタルが飛び交いはじめ淡い光が点滅しています。昼さがりには、裏庭の大木の根元から薄茶のウサギの赤ちゃんがとびだし、胸の赤い小鳥ロビン(コマドリ的一种)が蟻をつついて食べていました。軒下に住んでいたタヌキの家族はどこかに移転したらしく、いまは穴だけ残っています。ここシカゴ郊外のホイートンは閑静な住宅地です。ではまた。

H C J B 日本語放送担当

在 主 尾崎一夫 久子

【お知らせ】

オンライン・アルバムがリニューアルしました！

「『アンデスの声』39周年記念感謝コンサート」の様をオンライン・アルバム が「聞こえる写真」にリニューアルしました。リンク先は、

<http://album.nikon-image.com/nk/NAAlbumPage.asp?un=24172&key=129237&m=0>

です。

写真に添付されている音声を聞くためには、[アルバムを開く]ボタンでアルバムにログイン後、先頭に表示されているH C J Bのロゴマークをマウスでクリックして画面に1コマ表示してください。各写真が画面に1コマ表示されている状態で、その写真に添付されている音声は自動再生されます。矢印ボタンをクリックするか、ドロップダウン・リストを使うと写真間を移動できます。

掲載されている一部の写真には音声は添付されていません。

ご利用のインターネット閲覧ソフトやコンピュータ環境によっては、音声は正常に再生されない場合がありますことを、予めご了承ください。

写真のプリントをご希望の方は、実費ご負担にてご注文いただけます。オンライン・アルバムにログイン後、画面右上にある[プリント]ボタンをクリックし、表示される手順に従って必要事項をご入力の上、お申し込みください。なお、プリントのお届け先は日本国内に限定されておりますことを、予めご了承ください。

ゲストブックも用意しておりますので、画面右上にある[ゲストブック]ボタンを押して、ご感想などをご記載ください。

このオンライン・アルバムのことをお友達に案内するには、画面右上にある[友達に紹介]ボタンをご利用ください。

- このオンライン・アルバムは、2003年8月31日までご利用いただけます。

メール・アドレスが替わりました！

オフィスの移転に伴い、H C J B 日本語放送宛のメール・アドレスも替わりました。

新アドレス: kozaki@hcjb.org

(お詫びとお願い)

新オフィスの通信ネットワークの一部に障害が発生しているため、頂いたメールへの返信が現在たいへん遅れています。皆様にはご不便をおかけしておりますことをお詫びいたしますと共に、今しばらくお待ちいただきますよう、お願い申し上げます。

このメールマガジンは、HCJB日本語放送の管理するメール・リストに登録されている方に無料でお送りしています。

このメールマガジンをご覧になってのご感想やご意見、ご要望などは、[HCJB日本語放送](#)までお送りください。

また、このメールマガジンの配信停止、配信先変更、あるいは新規ご登録は、下の該当ボタンを選択し、必要事項をご記入の上、[この内容で送信する] ボタンをクリックして、手続きをお願いします。なお、**Netscape 6.2以降をお使いの場合、このメールマガジンに埋め込まれているご登録手続きの機能はご利用いただけません。**ご面倒ですが、[HCJB日本語放送](#)まで別途メールにてお知らせください。

配信の停止 (**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

配信変更先のメールアドレス
(**重要:必ず現在メールマガジンの配信登録されているメールアドレスからご送信ください。**)

新規登録するメールアドレス

お送りいただいた内容はメールリスト・サーバにより自動的に処理しますので、余分な内容は一切入れないでください。
このメールマガジンはコンテンツが大きいので、携帯電話への配信はできません。

Copyright © 2003 by HCJB. All rights reserved.



日本語ホームページ: <http://www.hcjb.org/japanese/>

Eメール: kozaki@hcjb.org

郵便の宛先:

Mr. & Mrs. Kazuo Ozaki

1920 Birkshire Pl., Wheaton, IL 60187-8050, U. S. A.
